

中部地区 公民館だより

第175号

令和7年9月1日発行
上山市中部地区公民館
上山市十日町4番11号
TEL 673-2588
FAX 673-0379

参加者募集!!

令和7年度
**地域の宝さがし
ウォークラリー**



チェックポイントを回り、クイズに答えながら
地域の宝をたくさん見つけるラリーです。

令和7年 10月18日(土)

参加賞あります!

受付・集合：中部地区公民館 受付開始 午前8時45分、開会式 午前9時
終了予定11:30

【今年の宝さがし対象地域】

・上新丁、下新丁、新町、御井戸丁・湯町新道の5地区

- ◆ 参加費大人1人200円(当日集金)。
キャンセルは10月10日(金)まで連絡を。以降は参加費をいただきます。
- ◆ 小雨決行。雨具をお持ちください。ウォークラリー中止の場合は、
上山城で地域の宝さがしを実施します。
- ◆ 申し込みは公民館だより裏面の参加申込書にて電話、FAXまたは
メールにて直接公民館へ9月30日(火)まで申し込みください。
- ◆ 飲み物は公民館で準備します。受付時またはお帰りの時に配布します。
- ◆ 小学生以下は保護者同伴、中学生は保護者の承諾が必要。

中部地区公民館主催

(健康ポイント対象事業 20ポイント付与)

令和7年度地域の宝さがしウォークラリー 参加申込書

◆ラリー参加

地 区 名				グ ル ー プ 名	
代 表 者 氏 名				電 話 番 号	
参加者人数					中学生は保護者の承認を得て、 申し込み願います。
大 人	子 ど も	中 学 生	計		

子ども：小学生以下

◆参加される方の学年に☐マークをしてください

小学生 ☐1年・☐2年・☐3年・☐4年・☐5年・☐6年

◆ボランティア参加

中学生 ☐1年・☐2年・☐3年

代 表 者 氏 名		電 話 番 号		人 数	
-----------	--	---------	--	-----	--

※ 人数×参加費（200円/1人）は当日お持ちください。

（中学生以下の参加は無料です）

※ 人数が変更なった場合、必ずご連絡お願いいたします。

※ ボランティアは、当日の準備、受付、立哨、後片付け等のサポートです。

午前8時30分まで公民館にご集合ください。ボランティアのみは無料です。

中部地区公民館電話番号 673-2588、FAX 673-0379、メール:chubu-1@silver.ocn.ne.jp

----- き り と り -----

みんな集まれ キッズオープンデイ



水風船すくい



駄菓子屋さん



わたあめ



消防自動車



宿題教室



ビンゴ大会

8月3日(日)、上山小学校の児童を対象にキッズオープンデイを開催しました。夏休みの一日を公民館で楽しく過ごし、公民館を身近に感じてもらおうと、昨年からは始まりました。館内では、わたあめ作りや水風船作り、公民館特製の紙幣を使用して駄菓子屋さんで買い物体験など楽しい催しがありました。信用金庫上山支店さんの駐車場をお借りし、消防自動車の展示と消防服に着替えて写真撮影も行いました。保護者と一緒に家族で来館する児童が多く、「初めて公民館に入った」という方もいて、公民館に気軽に足を運んでもらう良い機会になったようです。午後からはビンゴ大会で大盛り上がりになり、多目的ホールが子どもたちの歓声と熱気であふれました。宿題教室は集中して取り組める時間が少なく、日にちを変えて開催するべきではないかとの検討課題も残りました。改善しながら継続して行きたいと思います。

狙いを定めて「それ！」



7月25日(金)、かみのやまスポーツクラブの齋藤郁子さんを講師にモルック講習会を開催しました。初めての方が多く、ルールの説明と実技をご指導いただきました。参加者からは「意外に難しい」「さっぱり狙った所にいかない」と苦笑いしながら、頭と体と両方の体操を楽しみました。50点目指して何度もモルックを投げ、ぴったり50点になった時は全員が拍手で喜びました。



サンデー議会を 傍聴しませんか？

9月の定例会で「サンデー議会」を行います。市の将来に対する方針や政策の提案などについての一般質問をぜひ傍聴ください。

日時 令和7年9月7日(日) 午前9時30分から

場所 市議会議場(市役所2階)

その他 当日は多くの傍聴者が予想されることから、市役所1階の市民フロアーにテレビ傍聴席を準備します。

問合せ 議会事務局 672-1111(内線 251)



9月の百歳体操 4、11、18、25日

9月の行事予定

- 3日(水) 女性だけのお茶会
- 8日(月) はこべの会 映画鑑賞(1回目)
- 9日(火) はこべの会 映画鑑賞(2回目)
- 19日(金) 第2回地域づくり委員会
- 22日(月) はこべの会 サロン
- 26日(金) 消防訓練(事務局のみ)

スマホで海外旅行!?

8月18日(月)、ソフトバンク(株)の目黒さん、鈴木さんを講師に“はじめてのスマホ体験”を開催しました。スマホは賢い電話という意味で、便利な機能がたくさんあることなどを丁寧に教えていただきました。機能を使って音声でフランスに移動し、海外旅行気分を味わいました。「とても分かりやすかった」「レベルアップした内容でまた開催してほしい」と感想をいただきました。

9月のサロン

特別養護老人ホーム「蓬仙園」様の協力により、健康講話とぼた餅会食懇談会をおこないます。

日時 令和7年9月22日(月)

午前10時00分から

場所 中部地区公民館 多目的ホール

参加費 無料(氏名、住所、連絡先等の報告があります)

申込み締め切り 9月8日(月)まで

当日は申し込み予約の無い方の参加はできませんのでご注意ください。

藤井松平氏シリーズ6. 松平信愛（2） 伊能忠敬、上山で測量！

さて、先号で上山六代信愛侯の加番中の死を紹介しました。先に進みすぎたかも知れませんが、このシリーズも一八〇〇年代に入っています。

皆さんは余り知らないようですが、実は江戸時代後期に日本全土を実測し作製した「伊能大図」（『大日本沿海輿地全図』）の伊能忠敬が上山を通り宿泊、測量、天体観測していたのです。

伊能忠敬は、享和二（1802）年6月11日に草加を発ち、会津若松を北上して7月5日米沢、6日赤湯村、7日に上ノ山に入りました。第一次測量（奥州街道北上）の成果を幕府に提出していたので、三次測量では御公儀測量方の肩書きでした。

伊能忠敬の旅の記録、測量日記を紹介します。

「7月7日、六時半（午前7時）赤湯出立。程なく晴れ。八つ後（2時過ぎ）に着。止宿は、本陣問屋原田弾蔵（島津屋）。ここの領主より寺尾新左衛門という者、宿までやってきて名札だし、町方へ止宿しているあいだに用向きあるならば城に仰せつけらよと申し入れがあった。この城下は（本来あるはずの御公儀へのおもてなしの）藩境までの出迎え、道先案内がない。会津、米沢より不丁寧だ。この夜五時半（8時半）頃晴れて測量」と書いている。

「7月8日 朝曇、六時半（7時）頃上山城下出立。四谷村（上の山端郷）、ほどなく上山領・山形領の界（花立地蔵藩境標）あり。それより少し行って、道の右に佐倉領山形領界あり、佐倉領（千葉県）は金谷村といい、往来左右人家なし、それより坂を下って黒沢村、御料所、三河口太仲御代官所。道路平坦にて人家は道の左右にあり。家続きの入口に番所あり。これより松原宿。上山より一里十八丁（中略）小橋を越えて山形領南館村、出口の右の方の先千歳山、あこやの松あり。松原より一里十八丁山形城下（秋元但馬守居城）旅籠町へ九ッ後（昼過ぎ）に着。この城下入口より（出迎えの）足軽先払い、町役人棒突大勢出る、夜五ッ後（8時過ぎ）晴天測量。この日新庄まで泊触（宿泊予定の事前通知）を出す」。

分かることは、伊能忠敬は江戸・草加よりほぼ

真っ直ぐ北上していること、公儀測量方として今後の泊触^{とまりふれ}を出し公儀役人として旅をしていること、上山城下は役人の出迎えがなかったこと、7月7日夜上ノ山でも天体観測を行っていること、などが分かります（旧暦日付）。

伊能忠敬は測量方の前は千葉県佐倉^{たかはしよしとき}で米問屋を営み五十歳で隠居して若い高橋至時の天体測量術弟子となりました。何故でしょうか、二つの要因があります。一つは当時使用の「宝暦暦」が実態に合わず、正確な暦作製のために天体関係を実測したかったこと、二つ目、江戸後半期で近海に帝政ロシアの南下ラスクマンの船が出没、幕府は海防強化のため実測海岸線図が必要な緊迫した時代背景があります。

一次測量は寛政十二（1800）年奥州街道北上、目的地は三^{みんまや}厩^{えぞ}經由蝦夷（北海道釧路）でした。その折りに間宮林蔵を測量方に雇ったようです。出費の多く（百両）は自費でしたが、幕府は本州東海岸沿い北上の二次測量に天文方役人の待遇を与えました。続いて、真っ直ぐ羽州街道北上（北極星観測）が第三次測量ということになります。

さて、忠敬の測量をやや詳しく述べましたが、上山に話を戻すと、何故上山藩の対応が悪かったのかという点になります。7月、時の領主信愛侯は「大坂加番」（二回目）で上山を発っており、將軍家^{いえなり}齊に拝謁準備、7月中旬に江戸から大坂入りする直前でした。すぐ後の文化元年には江戸屋敷交換があり、幕府よりその認可^{くにがろう}が既に出ていたのかも知れません。あるいは国家老も寛政の政変の後始末に忙しかったのかと推察されます。旅人の記録が上山藩内の事情を推察させる伊能忠敬の記録です。先の殿が治政を顧みず奢侈に耽る中、アメリカやロシアが領土を広げようとする世界の潮流が日本に迫って影を落とし始めています。



※参考文献：市史資料「藤井御傳記」①、「上山藩大坂加番資料」③①、伊能忠敬測量記録、他。

伊能忠敬像図